

長野県における思春期対策の現状

(第二報) 教職員の性教育に関する意識調査

丸山 庸雄¹⁾, 斎藤 昭¹⁾, 中村正一郎¹⁾
太田 哲夫¹⁾, 城下 延夫¹⁾, 宮坂 厚¹⁾

要 約

性教育に関しては平成4年度より文部省の指導要項の改定もあり、小学校高学年より生活科、理科の単元に生命の誕生等が盛りこまれ現場の教師にも性に関する関心が高まってきたが、実際教室において指導するとなると教師自身の意識、知識、学校内での体制に各種の問題のあることが明確となってきた。今回アンケート調査を実施してその問題点の一部をあきらかにすることができた。

見だし語 「性教育」

はじめに

長野県においては前回の報告でみられるように、性に関する啓蒙活動は学校における性教育を中心に保健所、市町村の母子健全育成事業等を通じて、幼児期から中高年、老年に至るまでの生涯学習の観点から推進している。今回はその中心である学校教育の現場で担当する教員並びに校医の性教育に関する意識調査を実施したのでその概要を報告する。

調査方法

調査対象は長野県東北信地方の小、中学校教

員15校、625名で長野市、上田市、中野市、丸子町、野沢温泉村と都市部、農村部の全体に均一になるよう配慮した。

調査の質問用紙は日本性教育協自作成の調査用紙を各人一枚宛て配布、無記名にて回答を学校毎に回収した。

結 果

調査結果は表にまとめ、表は実数のみ記載した。フェイスシートによる分析は今後行なう予定であるが今回は総数の分析のみに止めた。

1) 長野県学校医会 性教育研究委員会委員

1) 性別	1. 男性	414	2. 女性	211	計	625
2) 校種	1. 小学校	239	2. 中学校	309	3. 高校	0
3) 教職経歴	1. 1～3年	90	2. 4～9年	142	3. 10～14年	128
	4. 15年以上	258				
4) 1. 既婚	352	2. 未婚	272			

(1) 性教育とはどんな教育だとお考えですか、3つ選んで番号に〇印をつけて下さい。

1. 性解放の風潮の中で、乱れようとする性を正しく指導し、純潔を守らせるよう指導する。	203
2. 男女の性の違いを指導して、性的な非行を防止するため指導する。	450
3. 男女の性の特質を理解させ、人間関係の在り方を指導する。	581
4. 生理的な知識をあて将来困ることのないよう指導する。	298
5. わからない。	8
6. その他	83

(2) 学校で性教育を行う場合主に誰が指導すべきだと思いますか、1つ選んで番号に〇印をつけて下さい。

1. 学級担任	452	2. 保健主事	34	3. 保健体育科教諭	28	2. 理科教諭	5.	家庭科教諭	2
6. 社会科教諭	7.	同性の教諭	8.	養護教諭	68	9. 校医	5	10. 外来講師	3
11. その他	11								

(3) 中学校の異性との人間関係についてどう思いますか。この状態まではと思われる番号を1つ選んで〇印をつけて下さい。

1. 友情を感じる程度	133
2. 好意を持ち愛情を感じる程度	263
3. 恋愛状態但しプラトニックなもの	151
4. 3以上に進んだ深い関係	7
5. 程度には関係なく自由に付き合えばよい	26
6. わからない	24

(4) 今、性の開放化が進んでいますが、そのことについてどう思いますか次の項目から2つ選んで、強く感じる方から1. 2の順で

() の中に記入して下さい。	1位	2位
() このまま開放化が進んで特に問題無い	1	3
() 現在の性の開放化のなかで、青少年に対して何らかの規範を強めるべきである	94	161
() 性の教育とともにもっと愛とは何かを考えさせるべきである	545	124
() 性風俗営業や性の情報の行き過ぎをもっと規制すべきである	109	20
() 自由化は止まらないと思う。各自の自律的なモラルでの行動を期待するしかない	51	109
() その他	11	34

(5) 性交についてはどうお考えですか、1つ選んで番号に〇印をつけて下さい。

1. 結婚、婚約をするまではしないほうがよい	259
2. 交際が進み愛情が深まればしてもよい	247
3. 機会があればしてもよい	5
4. 他人に迷惑をかけなければしてもよい	26
5. 避妊していれば性交してもよい	18
6. あまり考えたことがない	37

- (6) 中高校生が性交をもつことについて、どうお考えですか。1つ選んで番号に○印をつけて下さい。
- | | |
|---|-----|
| 1. 絶対よくない | 227 |
| 2. いつの時代でもそのような人はいるもので別に気にしない | 9 |
| 3. 現代社会の性の自由化がそうさせるのだから、まず社会から正すべきである | 62 |
| 4. 彼等がそれで善いと言うのなら、他からとやかく言う必要はない | 15 |
| 5. 彼等は価値観が違うのだから仕方がない | 3 |
| 6. 人生観に関する指導が不十分だからであり、家庭教育を含めて教育に責任があるように思う。 | 216 |
| 7. わからない | 47 |
| 8. その他 | 30 |
- (7) 中高校生への避妊指導についてどのようにお考えですか。1つ選んで番号に○印をつけて下さい。
- | | |
|------------------|-----|
| 1. 積極的に指導すべきである | 216 |
| 2. 指導するのでも止むをえない | 324 |
| 3. 指導すべきでない | 21 |
| 4. わからない | 34 |
- (8) 離婚親についてどのようにお考えですか。1つ選んで番号に○印をつけて下さい。
- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 離婚は絶対しない方がよい | 48 |
| 2. 子供の事を考えて離婚しない方がよい | 157 |
| 3. 事情によっては離婚するのはやむをえない | 354 |
| 4. わからない | 27 |
- (9) 人口妊娠中絶に対してはどのようにお考えですか。1つ選んで番号に○印をつけて下さい。
- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. 医学的理由がないかぎり生むべきである | 194 |
| 2. 社会的、経済的理由があれば中絶してもよい | 269 |
| 3. 計画外の妊娠であれば中絶してもよい | 37 |
| 4. わからない | 61 |
- 00 性教育の必要理由について、1つ選んで番号に○印をつけて下さい。
- | | |
|---------------------------|-----|
| 1. 男女の相互理解と尊重のため | 337 |
| 2. 氾濫する性情報の中で正しい性知識を与えるため | 108 |
| 3. 生命の尊さを教えるため | 213 |
| 4. その他 | 10 |
- 01 性教育を実施している場合その理由について、1つ選んで番号に○印をつけて下さい。
- | | |
|----------------------|-----|
| 1. 自ら性教育の必要性を感じているから | 366 |
| 2. 性教育の指導計画があるから | 92 |
| 3. 家庭から要望があるから | 9 |
| 4. その他 | 34 |
- 02 性教育実施のための必要条件について、どのようにお考えですか。1つ選んで番号に○印をつけて下さい。
- | | | | |
|---------------|-----|----------------|-----|
| 1. 教材、資料の整備充実 | 223 | 5. 家庭、地域との協力 | 106 |
| 2. 養護教諭との協力 | 71 | 6. 国による指導基準の提示 | 14 |
| 3. 教育課程に位置づける | 57 | 7. 性教育の研究組織の設置 | 29 |
| 4. 性教育の研修会をもつ | 62 | 8. その他 | 15 |

03 性教育未実施の場合その理由について、1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | | | |
|----------------------|----|---------------|----|
| 1. 指導の機会がなかったから | 28 | 5. 時間的余裕がないから | 40 |
| 2. 必要を感じなかったから | 7 | 6. 指導の自信がないから | 25 |
| 3. 指導内容、方法が不明確だから | 49 | 7. その他 | 14 |
| 4. 教育課程に位置づけられていないから | 8 | | |

04 これからの性教育の実践をどうお考えですか。1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|-------------------|-----|
| 1. 是非取り組んでみたい | 415 |
| 2. 積極的に取り組むつもりはない | 76 |
| 3. やらうとは思わない | 3 |
| 4. その他 | 67 |

05 大学教育（教員養成）における性教育講座の履修の必要性についてどうお考えですか。1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

- | | |
|--------------|-----|
| 1. 絶対に必要である | 237 |
| 2. 必要である | 298 |
| 3. あまり必要でない | 20 |
| 4. どちらとも言えない | 30 |

1 考 察

長野県の義務教育の教員は男性が多く今回の回答も男性教員が女性の約2倍を占めている。性教育に対する考え方では「性的な非行を防止する」といった生徒管理的発想が強いことに注目したい。しかし、この設問では純潔の文字に10数名から意見が述べられ不適切さを指摘された。

性教育の指導者としては圧倒的に一般教員とされているが、校医、部外の専門家を求める声もきかれる。しかし、これらは性教育の普及とともに次第に消滅するものと期待される。学校医会は担当する教員が誤って児童生徒に性教育を指導しないよう、教員への指導が大切だと考えている。

中学校での異性間の人間関係については友情の域を脱しない程度といい、この件に関しては別に行なった母親の意見と大体一致するが、生

徒は「愛」があれば相当のことが許されると回答している。こうした意見の差をうめる手段と能力が問われることとなるであろう。

しかし、設問5で交際が進み愛情があれば性交をしてもよいとしている教師が247名みられた。これをどう考えるのか今後の課題といえよう。特に「愛」について教師と生徒、また家族が共通した認識を持つことが必要と思われる。

以下の数問ではいづれも教師に積極的に性教育に関与しようという意欲が伺われる。

但し、いざ実施するとなると教材、学校内の組織、地域との協力に不安をいっているようである。

長野県では昭和40年代より県及び市町村教育委員会で「性教育」をとりあげ、研究指定校制を実施してきた先進県であり、昭和57年には「性教育の手引」が県教委より発行され学校における性教育の実施をすすめてきた。また昭和

62年には「全国性教育研究大会」が、続いて昭和63年には「全国学校医、学校保健大会」が長野市で開催され両大会において県内各校より20数篇に及ぶ研究報告が発表されている。しかし、全県的にはもう一步、学校体制の中での位置づけの指導が望まれ、昭和63年に実施した小中高教員の性教育に関する意識調査によっても、自らの研修とともに専門分野の研修を深めることが必要という意見が出された。

学校医会としては「性教育」ないし「性に関する指導」を学校で推進するためには精神科、産婦人科、小児科等の専門医を含め、1) 学校医および養護教諭に対する思春期医学の研修、2) 一般教員の思春期保健に関する意識の高揚、3) 保健室および校医に対する相談業務の拡大、4) 一般診療業務の中での思春期医学への理解と指導等の活動等を通じて児童、生徒の「不安」や「悩み」に対してより積極的な体制の整備、充実が計られなければならないという結論に達した。¹⁾

先に行なわれた長野県の高校生の性に関する意識調査²⁾でみると、異性に対する関心や興味を持ち始めるのは小学校高学年に多く、今回の文部省の生活科及び理科で性に関する指導を明確化したことは適切であると考えられるが、このことを踏まえて中学校で性教育を実施するにあたっては教師の性に対する認識と意識に統一性が求められることになる。文部省のいう「生徒が誤った情報や不適切な情報に惑わされないよう適切な指導や助言を行なうとともに、情報に対する選択眼や対応能力を育てるような指導を行なうことが必要である」³⁾という指導方針

が徹底することが望まれている。

ま と め

昭和63年度に実施した長野県内の教員の意識調査と比較して、このアンケートで見る限り性の指導が養護教諭にまかせるのではなく、一般教員も積極的に取り組む姿勢がでてきた。

一方、性の指導が生理的側面に止まらず、「愛」を主題として、心の問題にまで踏み込もうとする意欲が感じられる。

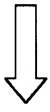
前回調査で指摘された管理職の理解不足については表現されなかったが、未実施の要因として時間の不足、教科での位置づけのないことが注目された。

プレテストを行なわなかったため、設問の不適切が多く指摘された。紙面の都合でその他に記載された多くの意見を省略させて頂いたことをお許し頂きたい。

最後に本調査実施に当り御協力頂いた長野県学校医会、各地教育委員会ならびに回答をお寄せ下さった各位に深謝申し上げます。

参考文献

- 1) 中沢弘行他；長野県の性教育の現況と十代妊娠の実態、第19回全国学校保健、学校医大会報告書、p169、1987
- 2) 吉岡利治他、高校生の性意識と男女交際への自覚について、日本性研究会会報、Vol. 3, No. 2, 1991
- 3) 文部省；生徒指導における性に関する指導—中学校、高等学校篇、1986



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約

性教育に関しては平成4年度より文部省の指導要項の改定もあり、小学校高学年より生活科、理科の単元に生命の誕生等が盛りこまれ現場の教師にも性に関する関心が高まってきたが、実際教室において指導するとなると教師自身の意識、知識、学校内での体制に各種の問題のあることが明確となってきた。今回アンケート調査を実施してその問題点の一部をあきらかにすることができた。